

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとしたフレージャーがいる遊び場

にしこうえん フレージャー

場所: 仙台市青葉区西公園 グラウンド南側の林の中で遊んでいます

主催: 西公園フレージャーの会

問い合わせ: 専用電話 090-7562-6154

URL: <http://homepage1.nifty.com/KUROBE/>

ブログ: <http://ameblo.jp/nishikouen-playpark/> ←(ケータイの方はこちら)

西公園フレージャーは、助成事業及び、たくさんの人からのカンパで運営されています。子ども達がいきいきと遊べる場所を確保していくために、カンパ協力をお願いします。一緒に楽しむ仲間も大歓迎です。

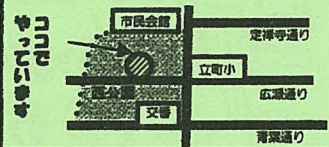
昨年度の開催にあたり、今までにたくさんの人からあたたかい「お金カンパ」や、「さとう・割りばしカンパ」などたくさん頂きました。ここにはお名前は載せませんが、心からありがとうございます!!! ございました。

2011年7月号

発行: 2011.6.22

編集: すずらん、ちか、たえ

印刷: thanks! えりちゃん、ゆんぐさん



ここにいます

7/24(日)

なが 流しソーメン

(2じから流すよ!)

・竹のくみだては10じ半からやるよ! 一緒にやろうぜ!



ざいりょう だい

材料代: 100円

おわん・はし・きおぐえ
もってきてねー

7月のよていひょう

— 西公園木の応援団事業 —

西公園の

旧親水庭園を

4回目

市民の手で発掘しよう

日時

7月23日(土)10じ~1じ

持ちもの

★汚れてもよい服装、軍手、タオル、飲みもの

昨年3回の発掘を行い、美しい庭園の姿が見えてきました。今年も続けて活動していきます。お手伝い、一緒にやりたい方大募集です。自然の中、気持ちよい汗をかきましょう。

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
					10じ~3じ	10じ~3じ
4	5	6	7	8	9	10
10じ~3じ ちびイベント	10じ~3じ	10じ~3じ				
11	12	13	14	15	16	17
					10じ~3じ 木の応援団	10じ~3じ なが流しソーメン
18	19	20	21	22	23	24
10じ~3じ	10じ~3じ	10じ~3じ				くぎさし
25	26	27	28	29	30	31

くぎさし大会

7月10日(日)

2じ~

24日(日)

2じ~

— 雑誌に載りました —

「edu(7月号増刊)」

定価800円

西公園フレージャーの再開までの歩みと、取材うけました。あの日の動き、あの日の想い。手にとりてみ2下かい。本皆さんに売ります♡

☆4月から開催曜日が第2・第4の土・日・月・火・水に変わりました。

★雨の日は、平日はお休みします。

ちびばーくイベント

まぜまぜ つるつる じいじ麺

日時：平成23年7月11日(月)11時～



持ち物：材料費¥200・おわん
お箸・着替えなど...



雨の日は
7月25日に
延期します。



イラスト：さくら

来月の
ようす

焼きたて! 焼きたて!
あそびばー(棒)
ハン

2011.6.13(月)

6月のちびイベントは

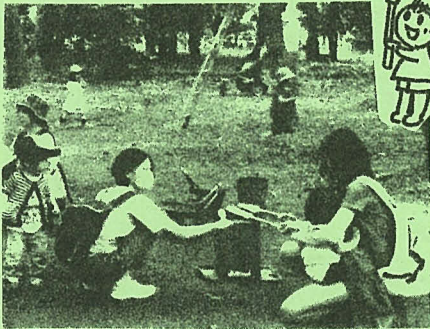
ハン生地を竹の棒に

巻きつけ、火でじっくり焼いて...

親はおしゃべりの花が咲き、子どもは

遊びあなかがすくと、ほかほかのパ

ンをぱくり!!



石巻に遊び場も!

7月3日(日)に、2回目の「遊んで」
みほう会」の開催を決定!!

ポスターが出来、避難所
や小・中学校へ配りました。

西公園メンバーも応援に行きます!

詳しくは 子どもの遊が環境学習会

検索

くろべのつぶやき H23. 7月号 (2011年6月5日執筆)

くろべです。こんにちは。

昨日は、名古屋で、づくり協会の総会でした。総会関連企画で被災地域での遊び場づくりを考える企画で、私も話をする機会をいただきました。

沿岸部に比べれば比較的被害が小さかった仙台中心市街地にあっても子どもたちには異変がおこっていたし、親たちは不安に思っていたんだけど、以前からいる信頼できる大人、仲間との出会いを作れたことが大きな支えになったと思います。

遊び場の再開のために、乳幼児をつれたお母さんたちがはじめての話し合いをしたときに、子どもの様子をおしゃべりしあって、すこし気持ちに余裕ができたということ。広報もできない状況なのに、公園にいるだけで、たくさん子どもたちと会えたこと。はじめは、子どもたちの様子が普段とは違うことが見て取れたけれど、遊んで、おしゃべりしながら、だんだんと前のように戻っていたこと。

私は鉄道復興で休みなしで家族と一緒にいられない状況でしたから、プレーパークでの妻たちのつながりがあったことで、私自身が安心することができました。

人間の力が及ばない大きな災害に出会うと、事前にやっていたことしか自分たちを助けてくれないと強く思い知らされます。

「プレーパークをやってよかった」

このことは、全国のお母さん達にも話したいし、お父さんたちにも話したい。日本全国でこんな酷い災害は起こってほしくはないけれど、いざというときにプレーパークという場があり、仲間がいることは、自分たちや家族を色んな面で守ってくれて、安心をくれる存在になると思いました。

それから、佐野さん(おかん)が小学校の校長先生の言葉を紹介してくれた、「子どもは顔で笑っているけれど、目の底がグレーに、曇っているように見える。子どもの目をきらきらとしたものにするために、協力してほしい。」と言われたことには、どきりしました。毎日子どもを見ている学校の先生がそのような感じているんだ。遊び場に関わる大人として是非とも協力したいものだと思います。企画の最後に映された動画で、あそびーばー(気仙沼の遊び場)で4人の女の子が元気に歌う「虹」にぐっときました。

「きっと明日はいい天気」

そうしたいですね。

会場では、たくさんの方に声をかけてもらいました。みなさん、ありがとう。